

2022年8月3日
京葉ガス株式会社

白井市と京葉ガス

「ゼロカーボンシティの実現に向けた連携に関する協定書」を締結

京葉ガス株式会社（取締役社長：羽生 弘、以下「京葉ガス」）は、8月2日（火）に白井市（市長：笠井 喜久雄）と再生可能エネルギーの普及拡大及び省エネルギーの促進、脱炭素型まちづくりの促進など、相互が同じ目標に向かい協力する「ゼロカーボンシティの実現に向けた連携に関する協定書」を締結いたしました。



笠井喜久雄 白井市長（右）と協定書の調印を行う京葉ガス取締役社長 羽生弘＝8月2日 白井市役所

【協定締結の目的について】

白井市は、脱炭素化社会を目指し 2022 年 2 月にゼロカーボンシティ（2050 年までに温室効果ガス排出実質ゼロを目指す自治体）を表明いたしました。

本協定は、白井市と京葉ガスが持つ資源を有効活用した官民連携による「オール白井」の取り組みを推進することにより、「ゼロカーボンシティ」及び「地球温暖化対策に取り組み、気候変動に備えるまち」の実現を目的としています。

【協定の連携協力事項について】

- (1) 再生可能エネルギーの普及拡大に関すること
- (2) 省エネルギーの促進に関すること
- (3) 脱炭素型まちづくりの促進に関すること
- (4) 気候変動への適応の実践に関すること
- (5) その他ゼロカーボンシティの実現に関すること

当社は、白井市のゼロカーボンシティの実現に向けて、地域に根差したエネルギー会社として貢献してまいります。